

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立南野津小学校

②思考力、判断力、表現力等の育成

取組の具体

やってみよう！シェアタイム

【目的】 主体的に考え 学び合う子どもの育成
～算数科における言語活動（シェアタイム）を通して～

- ・考えの明確化、ブラッシュアップ
- ・新しい考え方、解法の発見
- ・考えが持てるようになる学び方を学ぶ

【方法】 算数科を中心に、学習過程へ位置づけ

<学習過程> 教師は必要以上にしゃべらない。

- ①つかむ・見直す（問題に出会う 課題・見直し）
⇒ ヒントを出しすぎない
- ②考える（一人で課題に立ち向かう）
⇒ 教師はなるべく黙って見守る
- ③シェアタイムA（少数：お互いの考えを説明⇒気づく・伝える・理解する）
⇒ 教師は子どもをつなぐ役・聞き役
- ④シェアタイムB（全体：よりよい考え、よさを共有⇒広げる・深める・まとめる）
⇒ ネームで立場を明確に 本人または理解者が説明
- ⑤まとめ・ふりかえり（自分の言葉でまとめる。練習問題）
⇒ ふりかえりで学びを確認。

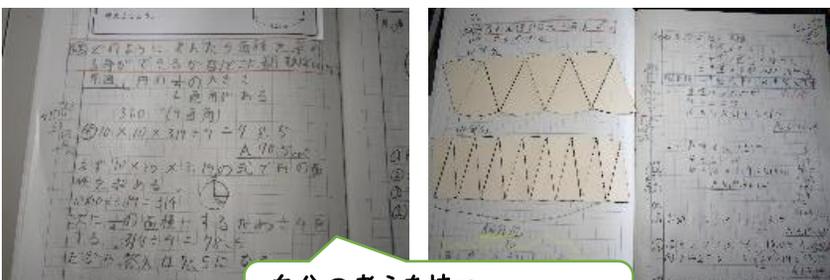


シェアタイムで
考えを伝える・理解する

<3つの約束>

- 自分がわかるまで聞こう！
- 友だちがわかるまで教えよう！ うなずき・ゆびさし
- みんなでゴール！

【考えを整理したノート】



自分の考えを持つ
自分のわからないがわかる

【構造的な板書】

